

平成30年度 事務事業マネジメントシート

事業名	街路樹整備事業			会計	款	項目	大専	小専	
				01	08	04	07	02	63
政策	01	1節 整備・開発と自然環境のバランスがとれた流山（都市基盤の整備）		主管課	みどりの課				
施策	1-1	生態系に配慮した公園・緑地・水辺等空間の整備・管理		主管課長	本田 英師				

I 事務事業の目的・内容

事業目的	対象	街路樹	意図	街路樹を維持管理することで快適な空間を創出する。
事業内容	街路樹の補修等を行う。市街地の緑である街路樹を確保する。			
事業開始から現在までの状況変化	樹木の生長に伴う適切な剪定整姿が必要となっている。			

II 事務事業の実績・現状及び成果を表す指標の動きとコストの状況

指標	名称	平成28年度	平成29年度	平成30年度	単位	目標方向	算定式（成果指標の場合）	
	①	街路樹補植本数（高木）	3	21	22	本		
②	街路樹補植本数（低木）	500	1,449	758	本			
③	街路樹大高木剪定数	12	131	161	本			
④								
⑤								
⑥								
指標で表すことができない定性的な成果							目的に対する現状（客観的事実・データに基づく現在の状況や取組状況） 今後も、街路樹の生長に伴い、剪定本数が増加する傾向にある・	
事務事業のコスト		平成28年度	平成29年度	平成30年度				
事務事業の総コスト(a=b+c)		3,332,500	8,148,040	10,525,000				
事業費(b)(円)		2,646,000	7,476,840	9,865,800				
うち一般財源		2,646,000	7,476,840	9,865,800				
職員給与費(c)(円)		686,500	671,200	659,200				
人役・職員(人)		0.10	0.10	0.10				
人役・再任用(人)								
人役・臨職(人)								
人役・嘱託(人)								
初期投資コスト(円)（建設又は取得年度のみ記入）								
想定耐用年数（年）（建設又は取得年度のみ記入）								

III 事務事業の評価、今後の方向性及び業務改善 <※主管課長記入>

(1) 事務事業についての評価及び今後の方向性

個別評価	必要性	今後の必要性	A 必要性が高まると考えられる	有効性	目標達成度	A 達成できた
		市関与の必要性	A 市が担うべき	効率性	対象者の適切性	A 対象者は適切である
					コストの削減	A 削減の余地はない
総合評価	I 拡 充 （事業を拡大して継続すべき）					

(2) 事務事業の業務改善について

①H30当初の改善計画(Plan)	予算内で優先順位を付け、補植や剪定を行う。	③取組における課題(Check)	区画整理事業の進捗に伴い街路樹が増えているため、計画的な剪定が求められる。
②H30に実施した取組(Do)	鱈ヶ崎のケヤキを剪定した。また、補植に関しては、低木を中心に市内各所にて行った。	④課題に対する今後(H31~)の改善計画(Action)	優先順位を付け、効果的な剪定及び補植を行う。